

議会の新たな体制がスタート

令和7年5月臨時会が市長の招集により、5月23日に開かれ、選挙により新しい正・副議長が選出されました。また、任期満了を迎えた各常任委員会の委員の選任等を行いました。

なお、正・副議長の選出に当たっては、透明性確保のため、候補者があらかじめ所信表明を行った上で選挙を行う立候補制を採用しています。



第72代議長
山条 真嗣

このたび、第72代議長に就任致しました山条真嗣と申します。

伝統と歴史のある坂出市議会議長の重責を日々実感しているところでございます。

しかしながら、議長に就任したからには、市民本位の市政実現のために粉骨砕身頑張っていく所存でありますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本市もいよいよ今年度より、中心市街地活性化公民連携事業による駅周辺と緩衝緑地の再整備が形となつて示されてまいります。まず今年度には駅南口にバスターミナルが完成し、翌年には駅北口に広場と駐車場が完成、再来年には緩衝緑地の供用開始、令和10年には駅前複合施設の完成、そして令和12年には、坂出市で初の小中一貫校の開校と、毎年どこかで何かが完成してまいる予定となっております。坂出市が変わっていく中ではあります、このような事業を行う上で、多額の費用も発生しており、喜んでばかりはいられないのも現実であります。

私達議員は、市民の代表であり市民の代弁者でもあります。将来世代を担っていく若い方々にツケを残さないように、二元代表制の一翼を担う議員が理事者とは是非々で意見を述べていかなければならないと思っております。

そして、我々議員も市当局に任せきりではなく、議会として市民が望むものに対してセールの出向いていかなければならないと思っております。

子育て世代の方々とはもとより、今から子供を産み育てていく若い人達が坂出に住み、子育てしたくなるような坂出市にしなければならぬと考えます。

そのためには、若い人達が集える場やスポーツが出来る場を整備していく施策にも力を注ぎたいと思っており、議員各位と一緒に取り組んでいく所存であります。

誰一人取り残さない市政の実現と市民に開かれた議会、そして、公正公平な議会運営を行っていく所存でありますので、どうぞよろしくお願いいたします。



第73代副議長
植原 泰

伝統ある坂出市議会の第73代副議長に就任し、日々重責の緊張の中、務めさせていただいております。

市長も再任され、駅前再整備から始まる大型事業が進められ、市の財政負担も大きくなります。そのような中、坂出市は全国的に見ても高い高齢化率であるという問題を抱えています。高齢者の自動車事故が問題視され、公共交通の整備が進められていますが、買い物や通院が困るから免許を返納できないとの声を多く聞く現状です。議員に就任以来、国の地方創生予算で市民の足を確保する事業を訴えてまいりましたが、この度内閣府副大臣との話し合いや市長自らの陳情を経て、新技術の自動運転バスの実証実験が市内で開始されます。身近な交通システムの構築を国の補助金を活用し、市の財政を圧迫することなく取り組めたらと思っています。また、議長の訴える若い世代に選ばれるまちづくりも急務であり、議長をサポートし実現ができるよう邁進してまいりますので、坂出市議会へのご支援とご協力をお願いいたします。

令和7年 5月臨時会の審議結果

議員数=19名 表決参加議員数=18名
※議長は表決には加わりません。

全議員が賛成した議案
(承認・同意)

専決

専決処分の承認について
(坂出市税条例の一部を改正する条例など) 2件

その他

坂出市監査委員の選任について など 2件

●議案内容等の詳細は、
坂出市議会ホームページ
【提出議案等・審議結果】
をご覧ください。

5月臨時会で同意した人事案件【敬称略】

◎坂出市監査委員
大藤 匡文

◎坂出市職員懲戒審査委員会委員
植原 泰 角野 正明 潮 秀隆 香川 浩基